

子ども教育学部

Faculty of Childhood Education

職位 教授

湯浅恭正（ゆあさたかまさ） 5



講義紹介

「特別支援教育」では、特別なニーズのある子ども理解をはじめ、特別支援教育の制度・思想・内容・方法について全般的な課題を取り上げて、特別なニーズのある子どもの視点から現代の学校教育を問い直す視点を考える。「特別支援教育総論」では、主に障害児教育の制度・原理・内容・方法の在り方を取り上げて、障害児の発達保障に必要な今日的な課題を考える。

担当科目：特別支援教育 特別支援教育総論

大学の魅力

広島市の中心近くにあり、学生生活を過ごすには最適な環境にあります。学生一人ひとりに寄り添い、丁寧な指導に心掛ける体制が整っています。

ベイシティの中心にあり、宇品港も近く、商業施設も整い、快適な学生生活を送る上で良好な環境にあるのが魅力です。

受験生へのメッセージ

教員や保育士等への道とともに多様な進路選択が可能な教育・指導体制を整えています。皆さんの学びのニーズに応える本学に期待を膨らませて進学されることを願います。

湯浅 恭正

ゆあさ たかまさ

湯浅 恭正 Yuasa Takamasa

子ども教育学部 子ども教育学科 教授

学歴・学位

島根大学教育学部卒業
広島大学大学院教育学研究科博士課程後期退学(教育学修士)
博士(学校教育学・兵庫教育大学)

主要職歴

昭和 48 年 4 月～昭和 50 年 3 月	島根大学教育学部 助手
昭和 54 年 4 月～昭和 58 年 3 月	徳島文理大学家政学部 講師
昭和 58 年 4 月～平成 17 年 3 月	香川大学教育学部 講師・助教授・教授
平成 17 年 4 月～平成 27 年 9 月	大阪市立大学大学院文学研究科・文学部 教授
平成 27 年 10 月～令和 3 年 3 月	中部大学現代教育学部 教授
令和 3 年 4 月～現在に至る	広島都市学園大学子ども教育学部 教授

専門分野

特別支援教育、教育方法学

主な担当科目

特別支援教育総論 知的障害児教育

研究テーマ

特別支援教育の教授学 インクルーシブ教授学

ひとこと

「大学は都市とともに、都市は大学とともに」-環境の整った都市学園のキャンパスでともに特別支援教育やインクルーシブ教育の行方を考えましょう。

所属学会・団体

日本教育学会、日本教育方法学会、日本特殊教育学会、日本特別ニーズ教育学会、日本生活指導学会、日本学童保育学会、大阪市立大学教育学会

研究活動、

著書(最近のもの)

- 1)子どもとつくる教育方法の展開(共編著)、ミネルヴァ書房、2021年11月
- 2)Padagogy of Cooperative and Inclusive Learning in Japan(Edited),KEISUISHA,2021年7月
- 3)教師になるための特別支援教育(共編著)、培風館、2020年、4月
- 4)アクティブ・ラーニング時代の実践をひらく「障害児の教授学」(共編著)、福村出版、2019年10月
- 5)よくわかるインクルーシブ教育(共編著)、ミネルヴァ書房、2019年4月
- 6)よくわかる特別支援教育、第2版(編著)、ミネルヴァ書房、2018年4月
- 7)インクルーシブ授業の国際比較研究(共編著)、福村出版、2018年2月
- 8)仲間とともに育ち合う貝塚養護学校(共編著)、クリエイツかもがわ、2018年2月
- 9)エピソードから読み解く特別支援教育の実践(共編著)、福村出版、2017年9月

学術論文(最近のもの)

- 1)インクルーシブな学校・生活を志向する教授学の課題、広島都市学園大学子ども教育学部紀要、第8巻第2号、43-52,2022年2月
- 2)特別なニーズのある青年の学びの場づくりをめぐる研究動向(共:加藤弘美) 広島都市学園大学子ども教育学部紀要、第8巻第2号、53-62,2022年2月
- 3)インクルーシブ教育における多職種協働の課題(共:新井英靖ほか)、中部大学現代教育学研究紀要、VOL,13.33-42、2019年10月
- 4)わかる・できる・楽しさのつくり方(単)、子安潤編『教科・総合の教育方法・技術』学文社、41-56、2019年1月
- 5)地域サポートステーション利用者の学びと社会的つながり(共)、茨城大学教育実践研究、37号、181-193、2018年11月
- 6)特別支援教育の実践研究とエビデンス論(単)、日本教育方法学会編『教育方法 47』図書文化、110-122、2018年10月

学会発表等(最近のもの)

- 1)教育方法学における実践知を問い直す、日本教育方法学会第57回大会課題研究コーディネート、2021年、9月、宮城教育大学(オンライン)
- 2)大学における知的障害青年の学びの課題、日本特殊教育学会第59回大会、自主シンポジウム提案、2021年、9月、筑波大学(オンライン)
- 3)子どもの当事者性から学びと育ちを問う、日本教育方法学会第56回大会課題研究コーディネート、2020年、10月、宮崎大学(オンライン)

4)子どものいのちを守り、安心・安全を保障する学校の役割-生活・福祉から学校を問い直す-、日本
教育方法学会第55回大会、シンポジウムコーディネート、2019年9月、東海学園大学